

| | | | | | | |
|-------------------------|--|--|------|-------|-----------|------------|
| 科目名 | 農業経営 | 単位数 | 2単位 | 学科・学年 | 畜産総合 科 2年 | |
| 使用教科書 | 農業経営 | 実教出版 | 副教材等 | | | |
| 学習目標 | <p>農業経営は、食料生産に関する分野に属する科目です。現代の社会において、国際化や情報通信の急激な発展、少子高齢化、消費者の安全への関心、環境保全、自然や農業志向の高まりと農業や農村はたいへんな注目を浴びています。現在、社会状況の変化に応じた即戦力として多種多様な経営が求められています。農業を行う上での生産活動はもとより、経営分野でいえば、コスト管理、マーケティング能力、変化する社会に柔軟に対応できる経営管理能力を身につけることが重要になってきました。この教科を通して地域の農業や世界の農業の動向を理解し、なおかつ農業簿記の学習によって実践力を身につけましょう。</p> | | | | | |
| 学習評価 | ○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとめり（定期考査までを学習のひとまとめり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。 | | | | | |
| | ①関心・意欲・態度 | 農業生産物の生産流通・経営に対する興味・関心が高いか。講義に主体的に参加し意欲的に取り組んでいるか。 | | | | |
| | ②思考・判断 | 統計表等から推測・考察が十分に行えるか。 | | | | |
| | ③技能・表現 | 生産流通・経営について基礎的な学力を身に付けているか。 | | | | |
| | ④知識・理解 | 農業生産物の生産流通・経営について基礎的な知識・技術を身に付けているか。 | | | | |
| |  | 評価方法\観点 | ① | ② | ③ | ④ |
| 学習状況観察 | | ◎ | ◎ | ○ | ○ | 机間巡視・観察 |
| 定期考査 | | — | ○ | ◎ | ◎ | 確認テスト・定期考査 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| ※表中の◎は観点の中でより重視するところです。 | | | | | | |
| 履修上の注意 | <p>○学習内容をきちんとノート等にまとめ、予習・復習の習慣を身に付けて下さい。 ○日頃から新聞等を読む習慣を身に付け、学習に役立てましょう。 ○講義は教科書を中心に進め、教科書と関連したビデオやパソコン機器等での視聴覚的な学習も行います。 ○電卓を使用します。</p> | | | | | |

| 学期 | 月 | 学 習 内 容 | 時 数 | 学 習 の ね ら い | 学 習 活 動 (評 価 方 法) |
|----|-------------|--|--------|--|-------------------------|
| 1 | 4 5 7 | 第1章 農業の動向と農業経営 1、我が国と世界の農業 ①世界の農業の現状 ②世界と日本の農業の動向 ③食糧需給と貿易 2、今後の農業経営と食料生産の動向 ①農業・農村の機能と役割 ②農業と環境の保全 ③消費の変化と農業 ④持続的農業の進展と有機農産物 ⑤農業経営の変化 | 24 | 世界の農業の現状を理解させ 世界と日本の農業の動向を 比較して考え、食料自給率 や貿易について理解させる。 農業の役割・特徴を理解させ ると共に、農業がもつ環境 保全へのあり方、「食」と の関係について理解させる。 また、有機農産物の動向と 農業経営の変化についても 理解させる。 | ・学習状況観察 ・定期考査（中間・期末） |
| 2 | 9 12 | 第4章 農業経営の会計 1、簿記の基礎 ①簿記とは ②資産・負債・資本と貸借対照表 ③収益・費用と損益計算書 ④取引と勘定 | 28 | 簿記の意味や簿記の五つの 要素などを理解させる。 取引・勘定・仕訳など、複 式簿記の基本を理解させる。 | ・学習状況観察 ・定期考査（中間・期末） |
| 3 | 1 3 | ⑤仕訳と転記 ⑥仕訳帳と総勘定元帳 | 18 | 複式簿記による、基本的な 取引の記帳から決算までの 流れを理解させる。 | ・学習状況観察 ・定期考査（中間・期末） |
| | | | 70 | | |